

被相続人 法務太郎 法定相続情報

<p>住所 ○県 出生 昭和○年○月○日 (妻) 法務 花</p> <p>最後の住所 ○県 市 町 最後の本籍 ○県 市 町 出生 昭和 年 死亡 平成 年 月 日</p> <p>(被相続人) 法務 太</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 被相続人の氏名を記載する。 </div> <p>住所 県 市 町 番地 出生 昭和 年 月 日 (長男) 法務 一 郎 (申出人)</p> <p>住所 県 市 町 番地 出生 昭和 年 月 日 (長女) 法務 優 子</p> <p>住所 県 市 町 番地 出生 昭和 年 月 日 (二男) 法務 二 郎</p> <p>住所 県 市 町 番地 出生 昭和 年 月 日 (長男) 法務 一 男</p> <p style="text-align: center;">以下余白</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 相続人が子であって、嫡出子と嫡出でない子が混在する場合には、嫡出子を示すときは、その両親の関係を表す線は二本線とする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 最後の住所は、住民票の除票(又は戸籍の附票)により確認して記載する。(最後の本籍の記載は、申出人の任意であるが、住民票の除票等が市区町村において廃棄されている場合は、被相続人の最後の住所の記載に代えて最後の本籍を必ず記載する。) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 相続人が子であって、嫡出子と嫡出でない子が混在する場合には、嫡出でない子を示すときは、その両親の関係を表す線は一本線とする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 相続人でない者については、氏名等の記載はせず、例えば性別のみとする。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 申出人となる相続人には、「(申出人)」と併記する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 相続人の住所の記載は任意である。記載する場合は、住民票の写し等があるとおり記載するとともに、その住民票の写し等を提出する必要がある。記載しない場合は、「住所」の項目を削除する。 </div>

作成者は作成した日を記載し、自身の住所を記載の上、署名又は記名押印する。

作成日: 平成○年○月○日
作成者: 住所 ○県 市 町 番地
氏名 ○○ ○○ 印

法定相続情報一覧図は、A4縦の用紙を使用してください。なお、下から約5cmの範囲に認証文を付しますので、可能な限り下から約5cmの範囲には記載をしないでください。紙質は、長期保存することができる丈夫なものにしてください。また、文字は、直接パソコンを使用し入力するか、又は黒色インク、黒色ボールペン(摩擦等により見えなくなるものは不可)で、楷書ではっきりと書いてください。